

核兵器廃絶へ



米原市民報

日本共産党米原市議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党米原市議員
藤田正雄 Tel.55-1527

唯一の被爆国日本政府は核兵器禁止条約に参加せよ

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

広島からのよびかけ

私は、今、核戦争が起されるのではないかとこの恐怖におびえています。原爆は、人間として死ぬことも、人間らしく生きること、も許さない絶滅だけを目的とした「狂気」の兵器です。核戦争を無くす最も確かな道は核兵器を無くすことです。核抑止論は「核脅し論」

以外の何もありません。：原水爆禁止2024年世界大会・国際会議での被爆者木戸季市(すえいち)さんの発言より：

米国による広島・長崎への原爆投下から79年。世界は、核破局の「瀬戸際」ともいわれる状況にあります。被爆80年を迎えようとしている今、被爆者は、「生きているうちに核兵器廃絶を」と力の限り声をあげています。

私たちは、被爆者とともに訴えます。核兵器は、いかなる状況においても決して使用されてはなりません。すべての核兵器を一刻も早く廃絶しなければなりません。

「核兵器禁止条約」は希望の光

私たちは、原水爆禁止2024年世界大会「国際会議宣言」を支持し、「希望の光」である核兵器禁止条約を力に、「核兵器のない平和で公正な世界」への道を切りひらくため、ただちに行動に立ち上がるようよびかけます。

核兵器の使用とその威嚇を絶対に許してはなりません。ロシアは核による威嚇をただちにやめるべきです。米国とNATO諸国も、

8月6日9日は広島と長崎に原爆が投下された日です。毎年原水爆禁止世界大会が開催されます。ヒロシマ集会で採択された「広島からのよびかけ」は次の通りです。日本政府はアメリカの核戦略への加担をやめ核禁条約に参加を強く求めています

「核抑止力」強化の路線をあらため、その放棄へと向かわなければなりません。被爆80年にむけ、ヒロシマリーナガサキの被爆の実相をひろめ、核兵器の非人道性を告発しましょう。

(中略)被爆者と核実験被害者への支援、実験場の環境修復など禁止条約具体化の取り組みに協力し、貢献していきましょう。

すべての国の政府に対し核兵器禁止条約への支持と参加を求めましょう。(中略)東アジアと世界における非核と包摂の取り組みを強化するため、市民社会と諸国政府の共同を進展させましょう。東アジアの平和構築をめざして、非核と平和を一体に草の根からの学習と対話、行動を進展させましょう。

「拡大抑止」は米核戦略への加担

米戦略爆撃機と自衛隊機の共同訓練や「拡大核抑止」に関する日米閣僚会議など、米国の核戦略への日本の加担は重大です。日本政府は、アメリカの「核の傘」への依存を一層深め、「抑止力」強化を口実に、「敵基地攻撃能力」の保有と大軍拡、沖縄はじめ南西諸島の軍事化など日米軍事同盟のもと、「戦争する国」づくりへと暴走しています。さらに日米共同声明では、自衛隊を米軍の指揮下に置くことをはじめ日米軍事同盟の歴史的大変質をはかりました。

これらがアジアの平和と安全を脅かすものであることは明らかです。「国際会議宣言」が表明した日本の運動への連帯にこたえ、唯一の戦争被爆国・日本の政

府が「核抑止力」論から脱却し、核兵器禁止条約に署名・批准することを強く求めましょう。(中略)人間らしく生きたいと願うすべての人びとと手を携え、人間の尊厳のための壮大な共同をつくり出しましょう。そして、主権者国民の力で政治の流れを変えていきましょう。被爆者とともに、若い世代とともに、未来を切りひらいていきましょう。

ノーモア・ヒロシマ
ノーモア・ナガサキ
ノーモア・ヒバクシャ
ノーモア・ウオー!

2024年8月6日

原水爆禁止世界大会広島

もう一つの悲劇：沖縄戦

太平洋戦争中、国内で唯一地上戦が行われたのが沖縄戦です。日本軍が住民を巻き込み12万人以上の沖縄の人が亡くなりました。今回米原革新懇では沖縄戦のドキュメント映画を上映することにになりました。入場料は無料です。どなたでも視聴できますので、是非見に来てくださと呼びかけています。

米原革新懇・平和のつどい映画会
「ドキュメンタリー沖縄戦 - 知らざる悲しみと記憶」
・日時 8月11日(日) 13時半～
・場所 近江学びあいステーション 2-3研修室
・参加料 無料